

FORWARD TO THE FUTURE

NATIONAL RESCUE MEET 37TH
RESCUE in KITAKYUSHU 2008

第37回 全国消防救助技術大会



主催／財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



FORWARD TO THE FUTURE

NATIONAL RESCUE MEET 37TH RESCUE in KITAKYUSHU 2008

2008年8月29日(金)

会場 北九州市立勝山公園

北九州市立勝山市民プール

「未来への発進」(Forward to the Future)をスローガンに、第三七回全国消防救助技術大会を去る八月二十九日、北九州市の市立勝山公園及び市立勝山市民プールにおいて、多くの来賓を迎えて盛大に挙行了。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素を練磨することを通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものである。昭和四十七年の第一回大会から、今大会で三十七回を数えるに至った。平成七年の第二十四回大会以来、一二年振りに開催地となった北九州市は、長い海岸線や緑あふれる山々などの豊かな自然を有し、本州と九州を結ぶ陸海交通の要衝、さらには東アジアの拠点として発展し続けてきた都市である。今年、市制四五周年を迎え、「元氣発進！北九州」をテーマに様々な「にぎわい事業」が展開されており、本大会においても、北九州らしさ、北九州の魅力を全国にアピールすることとなった。

大会主会場は、市民が集う親水空間、都心の憩いのスポットである「市立勝山公園」。市民指向を主眼に、会場を隔てるゲートのない大芝生広場に訓練施設を設営したことをはじめ、北九州市消防局主管のもと、地元特産品の即売や消防車両の展示、チャレンジレスキューコーナー等の市民参加型イベントも併せて開催された。

さて、大会当日は曇り空に少し不安を残すものの、数日前から降り続いていた雨も上がり、一般の方や消防関係者など約一五、〇〇〇名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に曇り空をものもしない熱気と興奮に包まれていた。

午前八時五〇分、北九州市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせて、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九七〇名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地消防長である西村北九州市消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員を含め、災害によって尊い生命を失われた御霊に対して黙とうを捧げた。国旗・大会旗の掲揚では、北九州市出身オペラ歌手の手嶋眞佐子様に国歌を独唱いただき、訓練塔に国旗・大会旗が高々と掲げられた。続いて、大会会長である小林(財)全国消防協会会長、北橋北九州市長のあいさつ、岡本消防庁長官(代理：幸田国民保護・防災部長)、麻生福岡県知事(代理：武居福岡県副知事)、中島北九州

市議会議長、片山(財)日本消防協会会長(代理：秋本理事長)、の祝辞と続き、さらに、大会審判長の西村北九州市消防局長による審判長指示がなされ、出場隊員を代表して北九州市消防局の大瀧久幸隊員が力強く隊員宣誓を行った。開会式終了後、訓練が開始されるまでの間は、地元企業の株式会社井筒屋「井和会」の若手メンバーによる「よさこい演舞」が華々しく披露された。

いよいよ訓練の幕開けである。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、出番に臨む。救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露する隊員の姿に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

訓練の後半は、昨年より正式種目として取り入れた技術訓練を実施した。水上の部では札幌市消防局、四日市市消防本部、高松市消防局の三隊、陸上の部では千葉市消防局、下関市消防局、北九州市消防局の三隊が、それぞれの創意と工夫のもと、新しい器材と技術を駆使し、先駆的な救助技術を披露した。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しもこれまでとはいささか異なり、自らの救助技術の向上のために少しでも技術を吸収しようとする学びの眼となった。幾多の先輩が築き上げた消防救助技術を礎に、新しい消防救助技術を習得しようとする隊員の姿は、まさに大会スローガンのとおり「未来への発進」を感じさせるものであった。

閉会式が始まるまでの間は、北九州市消防音楽隊・カラーガード隊による特別演技が披露された。

閉会式では、大会会長である小林(財)全国消防協会会長から「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げたい。陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君が日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮されたことは大変意義深いことと思う。本大会を一つの契機として、今後より一層救助技術の錬磨、向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう希望する」との講評があった。国旗・大会旗降納に続いて、大会旗が西村北九州市消防局長から次期開催地の上原横浜市安全管理局長(代理：樋高横浜横浜市安全管理局長)に引き継がれ、樋高横浜横浜市安全管理局長の次期開催地挨拶の後、大会副会長である相良福岡市消防局長が閉会を宣言し、第三七回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

猛暑の中、北九州市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々にに対し、衷心より感謝申し上げます。



挨拶

財団法人全国消防協会

会長 小林輝幸

第37回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のところ、消防庁長官、福岡県知事をはじめ、ご来賓多数のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、この大会は、全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、救助技術の練磨・研さんを図り、日頃鍛え抜いた消防救助技術を相互に確認し、災害時において安全かつ確実な救助活動を行なうことを目的として、昭和47年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、各消防本部並びに関係機関の各種資器材の改良・開発や活用技術の研究はもとより、何よりも隊員皆さんのたゆまぬ努力と日々の訓練の積み重ねにより、着実に発展を遂げてまいりました。

さらに、近年の多様化・大規模化傾向にある災害における地域住民の人命救助のため、緊急消防援助隊や、特別高度救助隊等の整備・強化が進められております。

しかしながら、先般、甚大な被害をもたらした中国四川省における大地震や、岩手・宮城内陸地震、また各地で発生した集中豪雨による被害など、地域住民の安全を脅かす災害は後を絶たず、安全に対する住民の関心と消防に寄せる期待は、ますます大きくなっております。

我々消防機関といたしましては、今後も総力を挙げて各種災害の予防と被害の軽減に努め、貴い人命や貴重な財産を護るため、全力で取り組んでまいります。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に十分に留意して、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目的を達成するとともに、今後も、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託に応えられるよう切望するものであります。

結びに、本日ご列席の皆様のみすますのご健勝を祈念申し上げ、挨拶いたします。



祝辞

北九州市議会議長
中島慎一



祝辞

福岡県知事(代理)
武居丈二



祝辞

消防庁長官(代理)
幸田雅治



あいさつ

北九州市長
北橋健治



閉会宣言

福岡市消防局長
相良文寛



次期開催地あいさつ

横浜市安全管理局次長
樋高雄治



開会宣言・審判長指示

北九州市消防局長
西村博



祝辞

(財)日本消防協会会長(代理)
秋本敏文

陸上の部

ロープブリッジ渡過(基礎訓練)



水平に展開された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。

【標準所要時間一八秒】

表彰者

- 【北海道】南渡島消防事務組合消防本部 松本 康宏
- 北留萌消防組合消防本部 太田 都寿
- 室蘭市消防本部 伊藤 康介
- 【東北】仙台市消防局 北園 貴教
- 相馬地方広域消防本部 中里 岳文
- 新発田地域広域事務組合消防本部 小林 諒
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 安井 啓

酒田地区広域行政組合消防本部 佐藤 隆哉

盛岡地区広域行政事務組合消防本部 細越 茂伸

関東

東京消防庁 山口 友也

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 佐々木 洋

桐生市消防本部 神山 慶充

東海村消防本部 萩谷 和彦

芳賀地区広域行政事務組合消防本部 水沼 一智

匝瑳市横芝光町消防組合消防本部 小川 正貴

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部 浅山 晃一

甲府地区広域行政事務組合消防本部 早川 任

松本広域消防局 前田 哲平

藤沢市消防本部 吉田 啓一

【東海】海津市消防本部 伊藤 賢二

蟹江町消防本部 若松 浩行

伊賀市消防本部 深山 彰彦

【東近畿】嶺北消防組合消防本部 西澤 真義

富山市消防局 内山 宏二

湖北地域消防本部 具島 遣

和歌山市消防局 瀧本 陽介

城陽市消防本部 辻川 眞哉

生駒市消防本部 川西 尚志

津幡町消防本部 山中 宏

【近畿】神戸市消防局 赤松 宏章

茨木市消防本部 山内 勇気

九州

北九州市消防局 八波 英則

薩摩川内市消防局 松迫 茂久

大分市消防局 花宮 慎吾

阿蘇広域行政事務組合消防本部 利道 誠和

宮崎県東児湯消防組合消防本部 長友 剛

唐津市消防本部 渡邊 裕天

長崎市消防局 松延 寛文

那覇市消防本部 中井健太郎

福岡県南広域消防組合消防本部 泉 一寿

はしご登はん(基礎訓練)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間一四秒】

表彰者

- 【北海道】北留萌消防組合消防本部 酒井 祐輔
- 北十勝消防事務組合消防本部 佃 和哉
- 札幌市消防局 網淵 裕介
- 樺山広域行政組合消防本部 並川 光生
- 【東北】弘前地区消防事務組合消防本部 桜庭 佳嗣
- 鹿角広域行政組合消防本部 海沼 雄二
- 釜石大槌地区行政事務組合消防本部 菊池 優

相馬地方広域消防本部 但野 賢哉

最上広域市町村圏事務組合消防本部 監物 真悟

石巻地区広域行政事務組合消防本部 杉浦 大樹

【関東】船橋市消防局 山村 治久

松本広域消防局 和泉 幸明

海老名市消防本部 小野 宏紀

浜松市消防本部 山口 知宏

甲府地区広域行政事務組合消防本部 植村 章潤

川越地区消防局 新井 章広

鹿島南部地区消防事務組合消防本部 池田 聡太

栃木地区広域行政事務組合消防本部 大美賀 清明

【東海】可茂消防事務組合消防本部 福住 守正

蒲都市消防本部 牧原 知秀

伊賀市消防本部 荒木 和俊

【東近畿】宇治市消防本部 野坂 通章

富山市消防局 野崎 一穂

吉野広域行政組合消防本部 中川 真吾

湖北地域消防本部 堀内 将軌

白山石川広域消防本部 黒地 雅司

南越消防組合消防本部 茨田 隆幸

和歌山市消防局 田村 幸

【近畿】神戸市消防局 西川 忠伸

富田林市消防本部 小山 桂吾

【中国】大竹市消防本部 奥田 栄進

防府市消防本部 武嶋 孝治

島原地域広域市町村圏組合消防本部 山口 貴教
 杵藤地区広域市町村圏組合消防本部 橋口 晃幸
 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 瀬戸 吾朗
 北九州市消防局 手島 直毅

ロープ応用登はん(連携訓練)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一五メートル登はんする。
 【標準所要時間一六秒】

表彰者

【北海道】
 北留萌消防組合消防本部 能登 智行
 南渡島消防事務組合消防本部 柿崎 智哉
 荒木 光男
 佐々木 実
 【東北】
 遠野市消防本部 菊池 文文
 菊池 伸行

郡山地方広域消防組合消防本部 矢内 智則
 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 安藤 晴臣
 弘前地区消防事務組合消防本部 坂本 哲
 木元 智昭
 小山市内 武志
 最上広域市町村圏事務組合消防本部 沢田 武志
 井上 巧美
 秋葉 徹
 春日 敏明
 山賀 洋平
 菅野 和俊
 佐藤 裕樹
 石橋地区消防組合消防本部 高山 正臣
 渡邊 修良
 茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 加藤 嘉之
 鈴木 久司
 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 真田 卓也
 武藤 源治
 岡本 貞治
 沼田 将明
 青木 隆秀
 藤森 晃英
 芹川 修一
 金村 洋志
 勝浦 亮
 中田 智
 矢島 知幸
 山崎 大輔
 富士宮市芝川町消防組合消防本部 植松 康浩
 佐野 正典
 佐野 昌宏
 加藤 勇樹
 東京消防庁 桑木野 守
 吉田 圭佑
 不破消防組合消防本部 柴原 広志
 大形 春樹
 原科 享介
 足立 英和
 志摩広域消防組合消防本部 柴原 広志
 吉田 圭佑
 春日井市消防本部 原科 享介
 足立 英和

【東近畿】
 橋本市消防本部 平井 教介
 宇治市消防本部 田村 友孝
 新納 史久
 新内 秀樹
 田悟 浩志
 辻元 一徹
 藤井 裕也
 窪田 真司
 中吉野広域消防組合消防本部 森田 嘉郎
 西口 嘉伸
 鴻嘉 利幸
 東田 利幸
 浅田 雅史
 田中 充
 田中 真也
 下山 鉄平
 河尻 幸治
 丹羽 康太
 藤田 憲司
 大原 英生
 兼森 一成
 坂本 有希
 川本 勝彦
 竹本 典孝
 岡崎 竜生
 大洲地区広域消防事務組合消防本部 福岡 誠啓
 福岡 誠啓
 佐世保市消防局 田中 大輔
 山口 大輔
 下地 敦
 渡口 真
 栗原 隆一
 高松 正延
 水落 亮太
 白石 賀久
 八代広域行政事務組合消防本部 森田 武
 野田 伸也
 加賀市消防本部 東田 利幸
 朝来市消防本部 浅田 雅史
 田中 充
 田中 真也
 大阪市消防局 下山 鉄平
 尾道市消防局 河尻 幸治
 丹羽 康太
 鳥取県東部広域行政管理組合消防局 藤田 憲司
 大原 英生
 兼森 一成
 坂本 有希
 川本 勝彦
 竹本 典孝
 岡崎 竜生
 光地区消防組合消防本部 兼森 一成
 坂本 有希
 川本 勝彦
 竹本 典孝
 新見市消防本部 岡崎 竜生
 【西国】
 大洲地区広域消防事務組合消防本部 福岡 誠啓
 福岡 誠啓
 佐世保市消防局 田中 大輔
 山口 大輔
 下地 敦
 渡口 真
 栗原 隆一
 高松 正延
 水落 亮太
 白石 賀久
 八代広域行政事務組合消防本部 森田 武
 野田 伸也
 【九州】
 佐世保市消防局 田中 大輔
 山口 大輔
 下地 敦
 渡口 真
 栗原 隆一
 高松 正延
 水落 亮太
 白石 賀久
 八代広域行政事務組合消防本部 森田 武
 野田 伸也
 那覇市消防本部 下地 敦
 豊後高田市消防本部 栗原 隆一
 春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 高松 正延
 水落 亮太
 白石 賀久
 八代広域行政事務組合消防本部 森田 武
 野田 伸也

ほくく救出(連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
 【標準所要時間一分一〇秒】

表彰者

【北海道】
 滝川地区広域消防事務組合消防本部 安部 唯人
 関口 弘憲
 及川 将希
 塚田 未来大
 砂田 勝徳
 佐々木 和幸
 登別市消防本部 塚田 未来大
 砂田 勝徳
 佐々木 和幸

宮崎県東児湯消防組合消防本部 則信 雅博
 三輪 尚正
 田中 誠人
 松永 勝義
 松尾 大介
 井上 祥太郎
 大濱 久幸
 勝河 史郎
 薩摩川内市消防局 田中 誠人
 伊万里市消防本部 松永 勝義
 北九州市消防局 大濱 久幸
 勝河 史郎

南宗谷消防組合消防本部

田村 俊和

南渡島消防事務組合消防本部

窪田 充徳
内藤 潤一

【東北】

塩釜地区消防事務組合消防本部

赤間 勝典

五所川原地区消防事務組合消防本部

石川 新
長崎 勲

湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部

古川 光世
三戸 智裕
成田 育生

伊達地方消防組合消防本部

南 和之
高橋 靖
藤田 和浩

釜石大槌地区行政事務組合消防本部

佐藤 秀智
小山 聖徳
佐藤 正裕

十戸町地域消防本部

川崎 和宏
佐々 真彦
中村 裕也

西村山広域行政事務組合消防本部

佐藤 正人
小林 徳明
村松 周次

【関東】

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

小松 政明
石井 達郎
岡野 今夫

川越地区消防局

深野 友也
水谷 大輔
宮本 直樹

東京消防庁

岡本 寛礼
井上 佳久
大庭 啓悟

太田市消防本部

篠木 浩良
赤石 正敬
茂木 健

厚木市消防本部

佐藤 和也
熊谷 幸信

日上市消防本部

島崎 亮太
関代 和彦

佐久広域連合消防本部

山形 友幸
小堀 真樹

峡北広域行政事務組合消防本部

東城 洋里
内堀 達也

大田原地区広域消防組合消防本部

長坂 浩樹
矢崎 朋彦

【東海】

豊田市消防本部

中根 義則
宮川 崇

松阪地区広域消防組合消防本部

松田 輝
玉野 勝也

恵那市消防本部

川口 将平
垣内 浩二

【東近畿】

五條市消防本部

大濱 昌男
可知 昌浩

京丹後市消防本部

吉田 正博
西村 英信

砺波広域圏消防本部

山本 忠司
藤野 光磯

湖南広域行政組合消防本部

宮本 英司
宮本 武志

嶺北消防組合消防本部

川島 良秀
北島 孝佳

小松市消防本部

今出 大集
笠間 道友

串本町消防本部

村上 友一
巽 江史

【近畿】

泉南市消防本部

岩谷 大輔

伊丹市消防局

馬谷 泰広
角田 良和

【中国】

益田広域消防本部

岡崎 真一郎
小川 雅典

鳥取中部ふるさと広域連合消防本部

福原 寿志
山根 尚夫

倉敷市消防局

小倉 啓彰
栗山 真一

広島市消防局

久保 伸一
大平 晃市

【四国】

伊予消防等事務組合消防本部

小寺 能康
門屋 竜平

仲多度南部消防組合消防本部

井ノ口 敬雄
中浦 茂弘

高知市消防局

草薙 正剛
亀山 龍矢

【九州】

粕屋南部消防本部

筒井 治郎
国久 淳平

八代広域行政事務組合消防本部

安川 智彦
有隅 美晴

出水市消防本部

山本 康裕
村上 正樹

那覇市消防本部

船越 義克
田平 論志

長崎市消防局

古村 公一
石本 孝正

別府市消防本部

本田 俊和
平岡 隆幸

宮崎市消防局

赤星 康広
中野 史則

唐津市消防本部

神保 知令
木村 憲洋

北九州市消防局

前田 博隆
山崎 祐介

唐津市消防本部

大塚 茂幸
茂幸 大輔

北九州市消防局

宮崎 大輔



ロープブリッジ救出(連携訓練)

四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展開された渡過ロープ(二〇メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

【標準所要時間一分一五秒】

表彰者

〔北海道〕
東十勝消防事務組合消防本部

網走地区消防組合消防本部

〔東北〕
魚沼市消防本部

巨理地区行政事務組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部

〔関東〕
船橋市消防局

太田市消防本部

笠間市消防本部

所沢市消防本部

春日部市消防本部

堀 順一 堀 健太 堀 真也 佐藤 恭兵 佐藤 兼裕 山本 一也 鶴巻 浩之 松田 弘和 向 充位 榎本 秀幸 星 博人 星 高橋 真 星 博人 南城 明典 鳴海 秀一 石川 貴幸 田中 共久 佐藤 敏正 阿部 俊一 堀越 満晴 先崎 正洋 島田 直樹 小野瀬 圭介 清水 良輔 尾内 雅慶 押岡 雅彦 赤坂 吉男 平野 政史 大澤 喜夫 園部 俊史 鈴木 弘樹 深澤 裕一 吹野 弘樹 関谷 慶紀 濱崎 達也 副島 英典 渡辺 貴明 大橋 良明 鈴木 和明 樋口 直人

市川市消防局

東京消防庁

船橋市消防局

〔東海〕
岐阜市消防本部

東海市消防本部

〔東近畿〕
嶺北消防組合消防本部

城陽市消防本部

〔近畿〕
高槻市消防本部

神戸市消防局

〔中国〕
鳥取県東部広域行政管理組合消防局

広島市消防局

小関 竜也 由利 学也 齋藤 有馬 奥澤 俊輔 藤野 靖広 中村 秀雄 生田 千尋 岡本 充央 湯川 達也 木村 吉宏 山崎 治久 嶋崎 健二 永井 幹康 熊沢 章太 市川 博則 武藤 巧則 坂野 祐史 榊原 一記 西川 翔太 大岡 俊介 奥平 泰央 田谷 悠太 玉村 義努 黒川 精一 内田 貴弘 水口 直和 新宮 規寛 河田 規寛 清水 広伸 坂上 紀之 高垣 良宏 坂口 周平 岩下 宣勝 後藤 徳治 前田 敬之 山下 敬之 福田 泰之 澤村 芳吉 竹内 光夫 福政 修平 中土 潤 森本 直光 奥村 耕次 児玉 勉

〔四国〕
嶺北広域行政事務組合消防本部

〔九州〕
北九州市消防局

糸島地区消防厚生施設組合糸島消防本部

粕屋南部消防本部

杵築速見消防組合消防本部

大知 知晃 朝倉 忍 澤田 大生 池内 啓介 藤森 拓哉 竹下 悠一郎 林 拓也 井筒 智昭 和 清二 谷口 道馨 牧園 高功 卜部 信一 木下 浩一 加治 浩一 稲永 浩一郎 八尋 健作 八坂 栄三 河野 大樹 香川 忠宏 帯刀 省吾



引揚救助(連携訓練)

五人一組(要救助者を含む)で、二人が空呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。

【標準所要時間一分三〇秒】

表彰者

〔北海道〕
函館市消防本部

〔東北〕
秋田市消防本部

南魚沼市消防本部

〔関東〕
市川市消防局

大和市消防本部

松戸市消防局

千葉市消防局

市川市消防局

遠水 幸啓 清水 康平 山口 聡 越田 恭平 伊藤 久章 鷹島 和 渡部 真一郎 船木 芳和 浅利 洋史 上村 啓太 貝瀬 啓太 五十嵐 史匡 片桐 晃裕 大平 晃裕 沼地 英明 宮地 浩路 西村 直太郎 須賀 佳史 川村 史也 二宮 大輔 青倉 仁 門倉 寛文 上西 創 山崎 伸明 新満 克弘 吉野 茂広 中野 紀彦 高橋 元 中村 善仁 相井 善光 石井 紀光 松岡 慎悟 伊東 孝幸 染谷 英昭 駒形 悟史 大場 明史 笹野 健一 秋葉 剛

東京消防庁

【東海】
豊橋市消防本部

鈴鹿市消防本部

【東近畿】
氷見市消防本部

京都市消防局

【近畿】
堺市高石市消防組合消防本部

岸和田市消防本部

【中国】
下関市消防局

鈴木 宏祐
水野 勇一
須藤 良一
高橋 一揮
稲田 貢一
提髪 紀太
森藤 将弘
佐藤 祐吾
加藤 進一
宮元 雅仁
大東 健太
清水 佳久
長嶋 真吾
後久 輝昭
熊沢 穰

杉木 勝樹
島田 将利
舟塚 毅
川辺 一毅
石戸 佑一
池松 清一郎
萩谷 陽介
久世 純也
岡山 義人
泉谷 義人

青木 孝晴
植野 道晶
西野 光義
赤池 正樹
成田 基樹
石橋 功也
河合 達也
林合 秀憲
河野 一憲
西野 孝広

宮本 正光
三好 祐
中村 友馬
重富 寛之
山村 大輔

【四国】
松山市消防局

【九州】
粕屋北部消防本部

宇城広域消防本部

【東】
県央地域広域市町村圏組合消防本部

村井 謙一郎
渡部 剛
松田 伸司
水口 真登之
寺井 健之
藤井 孝往
三日月 陽介
安武 博信
力丸 剛
井手 康和
田中 孝二
木村 正文
吉田 淳文
満潮 直範
堀 貴喜

木村 好博
西山 大輔
松尾 勇児
黒田 大生
田嶋 将太

障害突破(連携訓練)



五人一組(補助者を含む)で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

【標準所要時間三分一五秒】

表彰者

【東北】
山形市消防本部

盛岡地区広域行政事務組合消防本部

【関東】
成田市消防本部

流山市消防本部

市川市消防局

那珂市消防本部

松戸市消防局

【東海】
羽島市消防本部

會田 将之
渡邊 実
尾形 裕輔
大沼 達哉
中村 裕哉
千田 健児
上野 信英
伊藤 健一
大崎 高広
中澤 明光

小川 昭人
高橋 幸樹
岩澤 幸誠
海老原 良彰
今見 圭介
宇佐見 雅巳
植田 雅一
遠藤 雄一
安部 隼人
知久 圭宏
中村 嘉宏
早川 寿平
房野 逸平
平野 梓
猪狩 忠昭
中村 真之
三村 厚之
稲川 誠学
海老根 誠人
寺門 将弘
吉田 克弘
遠田 裕一
千葉 和也
尾崎 力二
渡来 賢二

不破 聖司
西村 誠規
竹市 善信
鶴飼 勇佑
小山田 剛

揖斐郡消防組合消防本部

【東近畿】
生駒市消防本部

金沢市消防局

【近畿】
神戸市消防局

【九州】
別府市消防本部

北九州市消防局

藤原 清文
平井 博文
伊藤 秀史
國枝 毅
宇佐美 毅
黒田 享司
新谷 誠
駒井 三誠
北野 雅之
谷川 太地
清水 慶彦
坂本 慶春
干場 隆晴
小澤 雄史
国沢 拓史

石崎 親一
三浦 直樹
水門 浩一
上原 拓真
松本 貴士
大石 直和
吉田 潤一
宮本 篤志
堀本 孝史
志手 知英
松本 謙吉
津永 信介
松田 和明
大淵 晃弘

水上の部

基本泳法(基礎訓練)



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

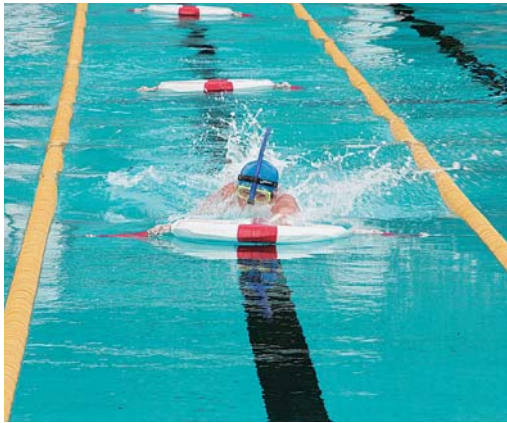
表彰者

- 【東北】
 横手市消防本部 松下 昌修
 鶴岡市消防本部 白幡 翼
 仙台市消防局 木村 翼
- 【関東】
 東京消防庁 清水 孝一
 藤沢市消防本部 大西 正規
 船橋市消防局 石丸 卓馬
 横浜市公安局 山本 慶介
 焼津市消防防災局 酒井 正樹
 太田市消防本部 星野 壮開
 磐田市消防本部 永田 佳寛
 千葉市消防局 新濱 秀樹
 東京消防庁 坂井 敏樹

表彰者

- 【東海】
 名古屋市消防局 小林 隼
 岐阜市消防本部 足立 真規
- 【東近畿】
 南越消防組合消防本部 古田 圭亮
 白山石川広域消防本部 西川 慎吾
 和歌山市消防局 田川 高紀
- 【近畿】
 神戸市消防局 高橋 伸武
 高砂市消防本部 田中 健吾
- 【中国】
 鳥取県東部広域行政管理組合消防局 上田 大智
 岡山市消防局 濱田 佑樹
- 【九州】
 大分市消防局 西村 明
 天草広域連合消防本部 池崎 王彦
 大隅肝属地区消防組合消防本部 坪山 光
 大分市消防局 後藤 幸一郎

複合検索(基礎訓練)



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物(救命浮環)を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げられる。水中の行方不明者の捜索を想定した訓練。

【標準所要時間四〇秒】

- 【東北】
 いわき市消防本部 空岡 実
 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 金浜 哲哉
 いわき市消防本部 猪狩 光博
- 【関東】
 さいたま市消防局 伊藤 澄雄
 田方消防本部 望月 栄司
 東京消防庁 神野 裕介
 茅ヶ崎市消防本部 竹田 友祐
 静岡市消防防災局 高村 知美
 市川市消防局 山口 剛
 東京消防庁 鳥家 吉高
 田方消防本部 西山 公康
 横浜市公安局 大束 一
- 【東海】
 小牧市消防本部 沖山 英次
 知多市消防本部 片山 清勝
- 【東近畿】
 京都市消防局 小西 立紘
 京都市消防局 山中 徹郎
 湖南広域行政組合消防本部 川端 勝敏
- 【近畿】
 守口市門真市消防組合消防本部 乾 雅法
 堺市高石市消防組合消防本部 山田 晃史
- 【中国】
 出雲市消防本部 板垣 慶太
 東広島市消防局 清老 洋平
- 【四国】
 徳島中央広域連合消防本部 寺井 一行
- 【九州】
 比謝川行政事務組合三ライ消防本部 小淵 努
 大分市消防局 山元 一憲
 高遊原南消防本部 荒牧 竜治
 高遊原南消防本部 福岡 雄樹

溺者搬送(連携訓練)



二人一組(要救助者を含む)で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者(溺者)を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアーキヤリーにより救助する。

【標準所要時間四二秒】

表彰者

- 【東北】
 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 奥沢 真治
 須藤 聡
- 【関東】
 藤沢市消防本部 菅沼 康介
 川口市消防本部 菅野 哲郎
 東京消防庁 菅原 直貴
 川崎市消防局 鈴木 敦士
 千葉市消防局 渡邊 寛彌
 大垣消防組合消防本部 阿部 慶之
 北川 一志
 田中 英則
 石井 洋行
 山下 恭史



人命救助(連携訓練)

【東近畿】
大津市消防局

白山石川広域消防本部

【近畿】
神戸市消防局

枚方寝屋川消防組合消防本部

【中国】
広島市消防局

【四国】
徳島市消防局

【九州】
熊本市消防局

大隅肝属地区消防組合消防本部

大分市消防局

黒島 和司

大沢 仁志

水田 寛之

有田 達洋

山口 幸仁

森山 聡希

川本 恵樹

河村 侑治

庄野 洋平

上嶋 菅嗣

田邊 愛

西園 康介

内村 哲也

末松 一彦

森まどか

表彰者

三人一組(要救助者を含む)で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチエーストキャリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつある要救助者(訓練人形)を水面に引き揚げ、救助する。
【標準所要時間一分二秒】

【北海道】
札幌市消防局

田中 伸也
橋本 拓実
木谷 俊介

【関東】
東京消防庁

落合 慶二
渡邊 寛彌
渡邊 真

東京消防庁

【中国】
広島市消防局

竹内 豪一
川部航之介
谷口 優輔
石崎 智資
由本祐一郎

【九州】
八代広域行政事務組合消防本部

佐藤 景介
鎌田 裕一
松田 修宗



溺者救助(連携)

三人一組(要救助者を含む)で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。
【標準所要時間四二秒】

表彰者

【北海道】
札幌市消防局

【東北】
鶴岡市消防本部

仙台市消防局

【関東】
横浜市安全管理局

田中 伸也
橋本 拓実
木谷 俊介

白幡 昌宏
相馬 進行
秋葉 典史

千原 功
伊藤 篤

土田 紗幸

平井 達也
住吉 輝俊
村田 利樹

利樹

田方消防本部

千葉市消防局

東京消防庁

【東近畿】
大津市消防局

【四国】
大洲地区広域消防事務組合消防本部

【九州】
比謝川行政事務組合三ライ消防本部

鳥栖三養基地区消防事務組合消防本部

熊本市消防局

中倉 勝徳

菅沼 邦明

林 悠亮

三浦 幸生

北野 充

山中 齊

道岡 将

中嶋 博文

安和 吉幸

玉城 宏人

宮城 康弘

黒田 聡

佐野 智久

篠原 義尚

服部 大輔

田野 尋志

荒木 諭志



水中結索(連携訓練)

三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種類のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。
【標準所要時間一分二秒】

表彰者

- 【東北】** いわき市消防本部 岩倉 一将 根本 健裕 平子 信吾
- 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 須藤 聡 佐々木 正道 福田 智裕
- 【関東】** 藤沢市消防本部 長谷川 良 春日 広巳 大西 正規 三浦 幸生 提橋 敦司 山本 章人 武田 晃太郎 清水 孝一 岸 高史 中島 明陽 神尾 清一 佐藤 健太郎
- 東京消防庁 黒島 和司 澤田 将人 長戸 敬介
- 【近畿】** 神戸市消防局 伊藤 公一 杉山 裕一 小松 康範
- 【中国】** 津山圏域消防組合消防本部 神田 貴章 頃安 一壮 磯田 基希
- 【九州】** 人吉下球磨消防組合消防本部 西川 隆浩 中川 博文 部 雅彰

- 熊本市消防局 服部 大輔 坂田 健志 上嶋 菅嗣 比謝川行政事務組合三ライ消防本部 天久 農 知花 一平 仲泊 剛志

水中検索救助(連携訓練)



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者(訓練人形)を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。
【標準所要時間一分四二秒】

表彰者

- 【東北】** いわき市消防本部 空岡 実 岩倉 一将 猪狩 光博 平子 信吾

- 【関東】** 東京消防庁 山口 章人 菊地 太剛

- 東京消防庁 武田 晃太郎 神野 清一 神尾 裕介 榮田 昭彦 駒田 健

- 【東海】** 知多市消防本部 篠田 昌裕 片山 清勝 佐藤 貴仁 藤田 友由紀

- 【近畿】** 守口市門真市消防組合消防本部 吉本 親央 馬場 大輔 乾 雅法 弥勒 正昌

- 【中国】** 東広島市消防局 福田 光泰 永松 康宏 大木 雅行 西川 浩明

- 【四国】** 徳島中央広域連合消防本部 横石 一郎 田本 圭豊 松本 聡史 武智 聡史

- 【九州】** 高遊原南消防本部 日置 啓一 福岡 雄樹 松本 卓実 片山 誠也

- 人吉下球磨消防組合消防本部 中川 博文 西川 隆浩 部 欣弥 豊永 衛美

技術訓練

定められた救助方法や資器材に縛られることなく、それぞれの出場隊が創意と工夫のもとで、より安全で確実・迅速な訓練を発表するもの。

陸上の部

- 【関東】** 千葉市消防局 椎名 啓太郎 渡瀬 大樹 山野 祐三 櫻井 一也 清田 啓史

(想定)
高所作業者が何らかの原因で転落し、安全ベルトのランヤードに接続された命綱一本で建物壁面の途中で宙吊り状態となったものとする。なお、現場ははしご車等により直接隊員が進入することは不可能な状況とする。付加想定として、転落事故に伴う落下衝撃により高エネルギー外傷の疑いがあるものとする。



【中国】
下関市消防局

永野 照和
坂本 和憲
廣渡 義敦
稲田 裕介
蛭子 裕介

（想定）
15階建て高層ビルの屋上から、外壁清掃作業員が約7m下の隣接ビル屋上に転落したもの。なお、転落時、14階の窓を清掃していた別の作業員に接触したため、この作業員が宙吊り状態となり、要救助者2名が発生した現場である。



【開催地】
北九州市消防局

鬼武 伸禎
平田 裕一郎
武石 信次
村上 優治
大野 博史

（想定）
「河川の護岸調査中、作業員1名が約4メートルの高さから川底に転落、それを助けようとロープで降下していた作業員も足を滑らせロープが絡まり逆さ吊状態になっている現場」。なお、上流のダムが洪水調節の目的でダムの水を放流したため、8分以内に川が増水し、川底の要救助者が流される恐れがあるもの。

水上の部

【北海道】
札幌市消防局

工藤 光樹
野田 良樹
成田 泰伸
福原 孝志
小松 拓
川成

（想定）
冬の北海道において親しまれているワカサギ釣り中に、割れた氷の上から1名が水中へ転落し、助けようとした1名も転落したという想定で実施する。



【東海】
四日市市消防本部

高川 雄吉
柴原 邦宏
畑倉 征利
坂木 直樹
鈴木 栄吾
金島 洋

（想定）
ドライバーの運転操作ミスにより、岸壁から普通乗用車が転落したもの。車両が転落した海域は水深約8m、海底状況はヘド口、視界の状態は普段で50cm程度である。また、時間帯にあつては早朝で車両は横転しヘド口に車両のフロント部分が埋もれ、窓は開放されている状況である。
四日市港に釣りに来ていた人の目撃情報から、男性1名が乗った車両が海中に沈んでいくのが確認されており、岸壁から東へ約10mの海域で泡が出ていたとのことである。救助隊到着時に泡の確認はできなかった。



【四国】
高松市消防局

橋野 裕治
鎌野 高剛
高崎 陽介
林川 佑哉
滝川 秀樹
時耕 洋平
松村 貴大
馬場 和之
稲田 佳布
毛利

（想定）
高松港の棧橋付近にて魚釣りをしていた夫婦が誤って海に転落。目撃情報によると男性は現在海面で助けを求めている状態であり、女性は棧橋の支柱につかまっていたが、潮に流されて棧橋の下に吸い込まれ行方不明、要救助者は2名という想定である。この訓練は多数係留している船の下、浮き棧橋の下、また岸壁の暗渠等、閉鎖空間での潜水現場を想定。



● コーラさん（ワイジー）

今日は日本の消防救助技術の最高峰のレベルの方々が集まった大会ということで大変興味深く拝見いたしました。日本の消防救助に関わる人たちが技術を磨いて競い合うというところは、レベルの向上にとっても良い事だと思います。そして、今日自分たちが見学できたことはとても良い経験になりました。



● マルチエさん（フリリピン）

本大会が素晴らしい盛大に開催されていることに感心しました。日本の消防救助に関わる人たちが、自分たちの技術を競い合っているのを磨き、同時にそれを子供たちを含む一般の人たちにアピールできる素晴らしい機会だと思います。

● シシルさん（スリランカ）

自分の国では、このような大きな組織だった大会をやることはとても難しいことですが、拝見してとても楽しむことができました。また、一般の人たちに消防の人たちがどのような仕事を行っているか、また消防救助技術の向上にどれだけ努力しているかを見られる素晴らしい機会だと思いました。国に帰って日本でこのようなことをやっているということを伝えたいと思いました。

● サータックさん（イラク）

このような大会を開くことは、消防に繋がると大きな利点となり素晴らしい結果に繋がると思います。消防の人たちが磨いた技術を一般の人に披露するというところで、選手は一生懸命に訓練を行い、技術の向上に繋がります。また、一般の人たちに普段の素晴らしい機会だと思えます。私は水難救助の大会を拝見しまして、皆さんが普段の努力が認められているのが分かりました。それにもまして素晴らしいのは、消防が一般の人たち、特に子供たちと交流する良い機会だと思いました。人間の繋がりの良いものを改めて実感するような大会だと思いました。

● ブオンさん（ベトナム）

このような大きな救助の全国大会を見て驚嘆しています。多くの人たちが消防救助に携わっているということを目の前で実感

できましたし、ベトナムではまだそこまで進んでいませんけれども将来的に日本のように消防、救助の技術を向上させていきたいと考えています。

● カナコーンさん（タイ）

このような大会を見たことは、私にとつて初めてで、とても良い経験になりました。特に印象的だったロープブリッジ渡過、水難救助の競技を見て、その技術、スピードに驚嘆しました。

● サムベル（アルメニア）

このような救助の全国大会を拝見しました。消防の人たちと一般の人たちとの交流というものも同時に行われているということは大変興味深く拝見しました。また、大会ばかりでなくいろいろな展示もあり、展示を拝見すると日本の消防に関する最新で高度な様々な機器があり、とても興味深く拝見しました。

● 阿部さんご家族（福島）

主人（郡山地方広域・ロープブリッジ救出）を応援するために家族で来ました。主人の努力を誰よりも知っていますので、家族の誇りである主人を全力で応援します。

● 消防職員の方々は、

日々市民の安全、安心を守るために苦勞されており感謝をしています。皆さんがんばってください。

● 奥田さんご夫婦とお孫さん（福岡）

この救助大会の開催は、地域の回覧板で知りました。私の家は消防署の近くで消防隊員が日頃から激しい訓練を行っているのを拝見して興味を持っていましたので孫と一緒に足を運んでみました。

● この大会を見て、消

防職員の方々の体力、スピード、技術には驚きました。この人たちが地域の安全を守っているなら安心です。

● イベントコーナーは

孫が大変喜んで、私たちも楽しんでます。孫は是非、消防に入りたいと思っています。

● 谷さんチーム（福岡）と谷さんのお子さん

今日は、地区指導会で競い合ったチームの応援と全国大会のレベルを確認するために来ました。

● 全国大会のレベルの

高さを痛感しました。しかし、手の届かないものだと思います。来年は是非、出場できるようにがんばります。『大きくなったら何になりたいですか？』野球選手、俳優…。



人命救助に
熱い血潮を燃やし続ける
消防人たちにおくる

(財)全国消防協会 福利厚生事業
全国消防グループ保険(生命保険)
消防職員傷害保険 消防職員医療保険
保険事業の収益金は協会公益事業に大きく活かされています

がんばれ消防！！

(財)全国消防協会は、全国15万人の消防職員を会員とする公益法人です。
全国消防救助技術大会・9地区支部消防救助技術指導会の開催等の公益事業をつうじて消防の発展と公共の福祉に貢献しています。

国歌独唱

オペラ歌手 手嶋 眞佐子さん

今年で37回目を迎えた全国消防救助技術大会の歴史の中で、今回、初めての試みとなったことがある。それが、開会式におけるオペラ歌手の手嶋眞佐子さんによる国歌独唱である。

隊員と関係者が国旗と大会旗に注目すると、ざわついていた会場に静けさが広がり、そこから手嶋さんの独唱が始められた。メゾソプラノの君が代が、会場の空気全体を振動させ、耳だけならず、体全体に響き渡ってきた。

実は、手嶋さんは北九州市の出身で、数々の思い出が、そこには残っている。数々の思い出が、そこには残っている。数々の思い出が、そこには残っている。数々の思い出が、そこには残っている。数々の思い出が、そこには残っている。



終始、やさしいまなざしで見守っていたマネージャー兼田村さんは消防団員でもある。

からの声を、喉も鍛えることです。指差して、側頭葉の周辺の空間を響かせる。喉も鍛えることです。指差して、側頭葉の周辺の空間を響かせる。



感じですかね」と、今度は???、不思議で興味深いことを教えてくれた。

数多くの公演をこなして来た手嶋さん。今までの歌手活動の中で一番印象深かったことは何か聞いてみた。「これが一番というものより、歌い続けること、今までわからなかった良さが、わかるようになること。続けることにより、凄く思っていた人のどろろが凄く、その凄さがわかるようになること。続けて来たからこそ、到達できる領域に届く。それが、一番良かったと思うことです」これは、消防隊の方の訓練にも当てはまることかも知れませんね。最後に消防職員へのメッセージを頂いた。「君が代の歌詞の意味で、小さな石が集まり大きな岩になる、長い年月をかけて積み重ねてきた結果そうなる。それを消防救助隊の方々の努力に重ね合わせて本日は歌わせていただきました。消防の方々は、大切な仕事をされていると思います。どうぞこれからも、誇りを持って続けて行って下さい」

特別演技

よさこい 井筒屋 井和会

今にも雨粒が落ちてきそうな曇天の下、分厚い雲も吹き飛ばす勢いで登場して来た。地元百貨店、井筒屋「井和会」よさこいチームの踊り手たち。揃いの華やかな衣装を身にまとい、時に激しく、時に華麗にオリジナルリティ溢れる振り付けで会場の人々を感動の渦に巻き込んだ。

今日、披露されたのは今年8月に開催された「第7回YOSAKOI九州中国まつり三北九州」で、見事に大賞を受賞した「気炎万丈」と北九州市消防局カラーガード隊とコラボでの演舞となったオリジナル曲の2部構成。

演舞終了直後、まだ息も整わない3名の方々からお話を伺った。



左から樽野さん、田村さん、川端さん。チームについて伺った。「私達は全員、井筒屋の社員です。よさこいチームは毎年、新入社員を中心に編成されていて、今年で結成6年目になります」。普段の田村さんは、販売促進部でその手腕を発揮している。クールな眼差しでの確かつ親切に答えて頂けた。

いつもは台所用品を担当している樽野さんに、「よさこい」に最も大切なことを聞いてみた。「よさこいは、やっぱりチームワークが一番大切だと思います。全員の動きが噛合ってひとつの踊りとなるので、練習で一人でも欠けると前に進めません。みんなが揃って初めて難しい技に挑戦できる。だからこそ、できた時は、みんな凄くうれしいんです」

紳士衣類を担当している川端さんには、救助大会の感想を聞くと、「そーとー、すごい！人を助けるために、ここまで訓練しているとは。カッコイイと思いました。ここまでしているのを見ると、火事の時もきつと助けてくれると感じました」とコメントしてくれた。また、樽野さんからは、「訓練きついと思いますが、これからはがんばって下さい。火事、出さないように気をつけます」とエールが送られた。

最後に消防職員へのメッセージを田村さんにお願した。「大会を見て、皆さんの毎日の積み重ねの成果が発揮されていると感じました。井筒屋も地域と共に歩んで来ました。消防も更に地域住民に係わって業務を進めて頂きたい。そして、この大会が百年先まで続けられるように、努力されることを期待しています」

永年、地域と共に歩んできた実績を持つ井筒屋さんならではのコメントは、感慨深いものであった。

救助でピカソコーナー “おえかKids大会”

このコーナーでは、救助大会マスコットキャラクター「未来消防・鉄人119号」のぬり絵で自分だけの救助ロボットを描き、北九州市に対するメッセージや消防に対するメッセージを自由に書いてもらうことにより、北九州市と消防を身近に感じてもらうことを目的に企画されました。

ところで、今回の救助大会マスコットキャラクター「未来消防・鉄人119号」のデザインを手掛けた、北九州市消防局小倉南消防署の安達広行消防士長から貴重なお話を聞くことができました。なんと、このマスコットキャラクターは「2代目」ということ。「1代目」は赤色の消防車をイメージしたものだそうで、このほかに救急をイメージしたものもあったそうです。安達消防士長から今回のデザインについて尋ねたところ、「子供や大人にも楽しんでいただけるような万人向けのものを考えました。また、キャラクターというよく動物などをモチーフにしますが、一風変わったもので、北九州市のイメージをと思って完成したのがこの「未来消防・鉄人119号」です。

と笑顔で答えていただきました。

子供たちもすっかりぬり絵に夢中になり「自分たちも大きくなったらこんなロボットのような頼りになる消防士になりたいな〜。」と聞かえてくるようでした。



「未来消防・鉄人119号」をデザインした安達さん



チャレンジレスキューコーナー

「要救助者1名救出！」と聞こえてきそうなほど真剣なまなざしで、小さな消防士が防火衣を着て仮設テントの中へ！障害物をうまく避けながら元気よく要救助者（くまのプーさん人形）1名を救出し、担当の消防職員へ「救出完了」とばかりに敬礼をしていました。

ここは、子供も大人も防火衣を着装体験ができるコーナーです。小・中学生は、防火衣に面体カバー付きの空気呼吸器を着装して、仮設テント内に入場し、取り残された要救助者の救出体験ができます。

このコーナーの担当者、北九州市消防局指導課黒田剛消防士長は「このチャレンジ

レスキュー体験を通じて、多くの方に消防をより身近に感じていただけたらと思います。」とお話されていました。

また、消防団の方が職員に交じりお手伝いをいただいている姿も見受けられ、「北九州市は消防団と協力して安心安全に向け100万市民を守っていくぞ！」という勢いを感じる一面を見ました。



エアースト遊具（ふあふあ）コーナー

大きな物体を発見！近くに来てみると子供たちがふわふわした赤い消防車に乗っていました。

このコーナーは、子供たちに消防車型の滑り台とトランポリンで遊んでもらうことで、消防を身近に感じてもらうと企画されたそうです。

あちらこちらで「次は僕だよ」、「次は私よ」と人気も上々で、担当の北九州市消防局指導課の井村陽子消防士長も子供たちの順番交代に四苦八苦されていました。井村消防士長に担当した感想を聞いたところ「子供たちもすっかり楽しんでいるのうれしいです。」とコメントをいただき、ふあふあコーナーを通じて、子供たちへも消防をアピールできたことを確信しました。



左端が井村陽子さん

消防車両展示・体験乗車コーナー

「ねえねえ、どうしたらあのはしご車に乗れるの？」とお母さんの手を引っ張り、他のものには目もくれず、はしご車へ歩み寄り子供を見かけました。体験乗車と言えば、やはりこれ「はしご車」ですね。今回の会場では、最新式の先端屈折はしご車を使って、市民の方へ消防のアピールをしていました。

少しでも多くの方に体験乗車してもらえるように、先端屈折はしご車のほかに屈折はしご車を使用したり、長時間の体験乗車待ちによる一般来場者の熱中症を防ぐために、あらかじめ整理券を配布するなど、いたるところに運営側の配慮と思いやりを感じました。

車両展示コーナーでは、子供も大人も絶え間なく消防車両をバックに記念撮影！「お母さん、こんなポーズでいい？」と張り切っていました。

ところで、始めにお母さんの手を引っ張ってはしご車に乗りたがっていた子供は無

事乗車体験できたのでしょうか？少し気がかりです…。



消防局本部庁舎内にある指令センター見学案内

大会当日は、北九州市消防局3階にある指令センターを見学することができました。指令センターでは、大会中も休むことなく（当たり前ですが、24時間年中無休）119番の通報を受けて、消防車や救急車に出勤指令をだしています。

北九州市では、年間89,587件（平成18年中）の通報があり、1日に平均するとなんと245件も「助けて」コールが入ってきます。

指令センターの職員は、電話口の先にある市民の不安を取り除くため、親切丁寧な対応を心掛け、また迅速・的確に消防車等に指令を下す大変重要な仕事を担っています。

指令センターを見学した親子連れは、本物の緊迫した指令センターの状況を目の当たりにして驚きを隠せない様子でした。



指令センター見学コース



消防音楽隊、カラーガード隊によるドリル演奏



もてなしコーナー



ロボット展示・デモブース



記念撮影ブース

その他イベント
etc

◆ 大会ダイジェスト ◆



第37号 平成20年10月24日発行

編集発行 (財)全国消防協会 〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2
 (アーバンネット麹町ビル) 電話 03(3234)1321(代)